

にこっと通信

nicotto tsu-sin!



2008.7.15

第22号

発行／
ぐんまこどもの国児童会館

巨大
カマキリロボットに
びっくり!

ーゴールデンウィーク企画 昆虫パークであそぼう よりー

どきどき★
びっくり!

夏の特別企画

「お化け屋敷」

こどもの国にあのお化け屋敷がかえってくる…
勇気がある人、こわがりを克服したい人は挑戦してみよう!!
…でも…

あなたは無事に帰って来ることができるかな?

8月2日(土)～24日(日)

時間 9:30～17:00

(お化け屋敷は10:00～16:30)

会場 多目的ホール

お化け屋敷に関連した
ものもおもしろい。
詳しくはお問い合わせ
ください。

スペースシアター

★ プラネタリウム新番組 ★

一般
番組 古代王者 恐竜キング
Dキッズアドベンチャー

大人気上映中
平日(夏休み期間中のみ)上映13:00～
土・日・祝日 14:30～

幼児
番組 おかあさんといっしょ
く〜ちょコランタン
宇宙であそぼう

上映期間 7月19日(土)から
平日 14:30～
(夏休み期間中は11:00～に変更)
土・日・祝日 13:00～



※夏休み期間…7/23(水)～8/31(日)

次世代を担う

子ども達が未来に

見る夢を募集します

ぐんまこどもの国 夢大賞 第17回

部 門	絵 画	童 話
テ ー マ	「ぼくの夢、わたしの夢」	創作童話(テーマは自由)
規 格	四つ切画用紙(約39cm×54cm)	400字詰め原稿用紙10枚以内
対 象	18歳未満	小学生以上18歳未満
	いずれも群馬県内居住又は通勤、通学する方	

応募方法 所定の応募票を添付し、郵便または児童会館まで持参してください。

募集期間 8月1日(金)～9月7日(日)

そ の 他 作品は未発表のものとし、応募作品は審査を行い各種目ごとに賞を設け、賞状等を贈ります。表彰式を11月16日(日)に行う予定です。

休館日

7月…7日(月)・14日(月)・22日(火)・28日(月)

8月…4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

9月…1日(月)・8日(月)・16日(火)・22日(月)・29日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町 480
TEL. 0276 (25) 0055 FAX. 0276 (25) 0059
URL <http://www.kodomonokuni.or.jp/>

移動児童館(プレーバス巡回)事業

わくわく号が行く!



ぐんまこどもの国児童会館では、県内各所の子どもたちが児童館の遊びを体験できるように、スタッフがプレーバス「わくわく号」で地域の公民館や児童館を訪問しています。昨年度は県内64カ所、約4,000人以上の子ども達や保護者が、当館のプログラムを楽しんでくれました。

そんな移動児童館は今年もまた大人気。それでも、まだまだ訪問していない場所もあります。そんな地域の方はぜひ「まだ、わくわく号を見てないよ!!」と手を挙げてくださいね。

造形遊び

親子から高学年までの年齢に
合わせた工作を行います

・造形遊び

身近な材料を使って
季節の工作を行います。



・やきものの体験

白磁やガラス製カップ
を焼き物専用の転写紙
で飾り付けます。
(材料費：1人400円)

科学遊び

簡単な実験をしながら楽しく
学びます

・シャボン玉であそぼう

手作りの液や枠で、巨大なシャボン玉作りに挑戦。
(期間：4月～10月頃)

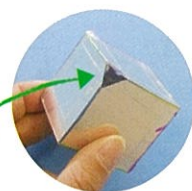


・空気砲であそぼう

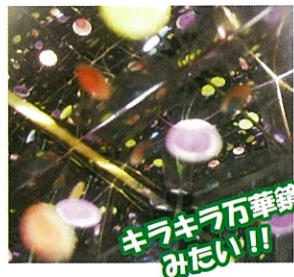
簡単な実験の後、ペッ
トボトルで空気砲をつ
くります。

・ミラーキューブ

製作をとおして、鏡
の原理を体感します。



この穴から
のぞくと



キラキラ万華鏡
みたい!!

集団遊び

乳幼児の親子遊びや、小学生
向けの集団ゲームなど

・親子遊び

歌や手遊び、パネルシ
アターなどで、親子遊
びを楽しみます。



・カブラであそぼう

カブラ(白木の積み木)
を使って、高さ積み競
争、かまくら、ナイア
ガラなどに挑戦。



◀これがカブラ

・おもしろゲーム大会

室内オリンピックやオ
セロ DE うら² ゲーム
など。



「ナイアガラ」
くずしーす!

・ドキドキくるくる 皿まわし

練習の後、個人やチー
ム対抗でリレーや勝
ち抜き戦などを行いま
す。



うーん
目がまわるー

・水でっぽうバトル

チーム対抗で勝敗を競
います。
(期間：夏期のみ)

鑑賞事業

16ミリ映画フィルムの上映

アニメや実写など、16ミリ映画の上映。



みんなの希望が

集中しやすい月があります。

そんな時のために、月末や月初めなど、
少しずつずらして、第3希望日まで考えて
計画してみてください。

利用案内

- (1) 対象：県内の児童館、児童センター、公民館、子供育成会、母親クラブ等、児童健全育成を目的とした団体。(学校、幼稚園、保育所は除く)
- (2) 利用できる日：当館の開館日。
※G.W、夏休み、冬休み、春休みなど、特別事業実施期間はのぞく。
- (3) 利用時間：午前10時30分から午後4時までの1～2時間程度。
- (4) 費用：原則として無料。ただし内容により材料費などかかる場合実費。
- (5) 申し込み方法：電話で予約申し込み。後に、申請書を提出。
※実施3ヶ月前(の1日から)～1ヶ月前まで先着順で受付、また、受付の際は希望日を3日くらいご用意ください。

◎多くの人に楽しんでもらうため、1団体につき、年に1回のご利用とさせていただきます。

〈お申し込み先〉ぐんまこどもの国児童会館 TEL. 0276-25-0055



現代の男の子の問題

—「男の子が元気がない」を考える—

現代の社会において、女の子は元気がよいが男の子が元気がないとか、不登校や引きこもりなどのいわゆる問題行動も男子の方が多いと感じていると多くの人たちから聞かれるようになりました。

当館こども相談室へも同様に、男の子に関する相談の方がやはり多く、大学の授業でも男子が女子の後ろで目立たないとか、市町村が勧める海外への交流事業も女子の参加が圧倒的であり、高校では女子の生徒会長も増えたということです。

ニート・フリーター・ネットカフェ難民と呼ばれる者の多くは男であり、少年犯罪の分析では男の子は以前より依存症的、自己愛的になったという。また、女の子より身辺自立が遅れている、男の子は母親の期待に押しつぶされている等々…。

男の子が元気がないという説に疑問を感じざるをえないものも多いですが、多くの人が最近の男の子は元気がないと感じているのは確かなようです。

■ 男の子の役割について

男の子に対して相反する2つの期待が抱かれています。男の子らしい逸脱の遂行と男の子らしい適応行動の期待です。前者は腕白でやんちゃで少々羽目をはずすくらい元気な行動、後者は順法で社会に適応でき、積極的な行動がとれることを期待しています。今日、男の子について語られるのは、その男の子らしい逸脱行動と男の子らしい適応行動の両方の減少が見られることです。

元気が元気でないかは主観的な判断ですが、この背景には逸脱期待であれ適応期待であれ、男の子が社会的期待を十分に満たせなくなっているという事実があるのではないのでしょうか。

■ 第二反抗期の意味と現代の親子関係

2歳から4歳のころの第一反抗期は自我の芽生えの時期であり、それまでは親の言うことがすべてであり、親の庇護のもとにすごしてきた子どもが、自分の要求を通そうと“ヤダー”“ダメー”と自己主張をはじめ、お母さんたちが子育てに戸惑いを感じる時です。それからおよそ10年後第二反抗期に突入します。この時期に入ると、子どもは親の言うことを素直に聞き入れようとしません。多くの青年心理学者たちが親への反抗を示すこの時期を青年期の特徴としてかけてきました。第二反抗期はアイデンティティ（自己の存在証明）の確立にとって重要な要因であり、

自分は将来どのような生き方をしていけばいいのかといった自分の独自性を見いだす過程なのです。

第二反抗期における親との対立や葛藤が、実は精神的な自立を促し、それがアイデンティティの確立につながるわけですね。

かつての日本の父親は“怖い”というイメージでとらえられてきており、厳しい父親とやさしい母親、厳父慈母というのが一般家庭における親イメージでしたが、意識調査から見ても今どきの中高生は父親・母親ともに“やさしくものわりのよい親”ととらえています。あれやこれやと行動を制限するような口うるさい厳しい親は激減しています。このように親子関係は変化してきており、ものわりのよいやさしい親に反抗する理由も特に見当たらなくなっています。

■ “いい子”が危ない？

“いい子”とは、“いい子”の基準は親側にあり、親に反発することなく従う、素直な子どもが“いい子”の必須条件です。

なぜ“いい子”がいけないのでしょうか。“いい子”は親の価値観を自分の価値観にすり替えて親に反発や反抗することなく親の庇護のもと、大切に育てられました。本当の自分はどんな姿なのかといったアイデンティティの形成過程を経ずに大人になってしまった可能性があり、社会に出て“いい子”を演じ続けていると、職場不適合を起こしたり、対人関係でつまづく場合も出てきて、どこかで息切れをしてしまう可能性もあります。親にとっての“いい子”はやめて、生き生きと楽しんで自己実現できるものを探する必要があります。

■ たくましい男の子を育てるにはどうしたらよいのか

今の時代、親子間の葛藤がなくても家族システムがしっかりと機能していれば、青年は自立していけるといわれ、むしろ親子の葛藤が強い場合、今の青年は非行行動に走る傾向があると指摘されます。第二反抗期なき新しい親子関係の中で、たくましい青年が育つためには、親自身がもっと毅然とした態度で自分の生き方を子どもに示す必要があるかと思われます。

参考
文献

樋田大二郎「男の子が元気がない」を考える
小野寺敦子 第二反抗期の喪失が男の子にもたらすもの
『児童心理』2008 3月号所収

第1回 ぐんまこどもの国自然の歌 童謡・唱歌コンクール開催



5月25日(日)、「大きな栗の木の下で」や「どんぐりころころ」など、自然にちなんだ童謡唱歌を自然豊かな金山を背景に歌ってみよう！というこのコンクールでしたが、当日は前日からあいにくの雨模様で公園野外ステージが使用できず、児童会館の多目的ホールを会場に開催されました。

子どもの部には3才から12才まで14組21人、一般の部には8組12人が出場してくれました。子ども達は、マイクの前に立つと緊張してか、曲目を言うのももじもじしていましたが、いざ、ピアノの生伴奏が始まると、会場いっぱいに響き渡る大きな声で一生懸命歌ってくれました。

歌い終わった感想を聞くと、「気持ちよかった」「緊張したけど楽しかった」などと、頼もしい話も聞けました。また、お母さんと参加した組もいて、「お母さんと一緒に歌えて楽しかった」と親子で気持ちの良い時間を共に過ごすことができたようです。

最高賞の知事賞に輝いたのは、子どもの部は「大きな栗の木の下で」を歌った中島珠奈さん(太田強戸小2年)、一般の部は「月の砂漠」を歌った永井美加さん(高崎市)でした。

お2人ともおめでとうございます！そして、すてきな歌声を聞かせてくれたみなさん、ありがとうございました。

紹介します

箕郷児童センターいずみ

高崎市箕郷町矢原14-1 【開館時間】AM9:00~PM5:00
TEL 027-371-0805 【閉館日】日曜日、祝日、年末年始



今年4月にオープンした箕郷児童センターいずみ。中に入ってみると白を基調とした壁とたくさんの窓があり、太陽がたっぷり降り注ぎとても明るい内装でした。そしていたる所がバリアフリーとなっていて、どの年代にも使いやすいようになっています。それもそのはず、この児童館を作ったのは老人ホームやケアハウスを運営する社会福祉法人清光会で県内でも数少ない民設民営の児童館です。歩いていける距離に老人福祉施設があるので、今後お年寄り達との交流も考えているそうです。自然と異年齢交流ができる環境があってうらやましいですね。

この施設の一番の人気はクライミングウォールです。毎朝、職員が危険がないように点検し、職員のみなさんもちろ登れるそうです。(試しに取材班がチャレンジしましたが2段で断念しました…)

また、平日は乳幼児向けの読み聞かせや造形遊びなどの行事もあり、土曜日には小さい子どもを連れたお父さんの姿もあるそうです。

今後は、ボランティア活動や学童保育運営等も幅広く展開していくそうです。

太田市木崎児童館

太田市新田中江田町982-1 【開館時間】AM9:30~PM6:15
TEL 0276-56-8400 【閉館日】年末年始



太田市13館目の児童館として今年4月にオープンした木崎児童館を訪れると、広々とした敷地にお城をイメージしたという建物が建ち、印象的な3本の柱が出迎えてくれました。柱の色はそれぞれ青=水辺、緑=草原、オレンジ=太陽を表しているそうで、入る前からわくわくした気持ちが高まります。

中に入ると天井の高い開放的な遊戯室で、小学生が賑やかに卓球やボール遊びをしていました。館では学童保育も行っていて1~5年生まで33名の子どもたちが在籍しているとの事。こんな素敵な環境でのびのびと過ごせるなんて羨ましいですね。

体に優しい木材を使用した明るい館内には、集会室・図書室・ボランティア室があり、乳幼児連れの親子や保育園帰りのグループが楽しそうに遊ぶ姿も見られました。お話をお伺いした栗原館長が「人が集う・出会う場は気持ちの良いところであってこそ、いいものが生まれる。とにかくこれから「いいあそび場」を作っていきたい」とおっしゃっていたように、本当に居心地の良い木崎児童館。館長自ら「私が“仕掛け人”になって色々な面白い事を計画中なんです」という、今後展開予定の行事も楽しみです。

こどもの国 無料貸出自転車のお知らせ

東武三枚橋駅前から
ぐんまこどもの国への来園者へ、
自転車の無料貸出しを行っています。



詳しくは
お問い合わせください

■ 太田市役所 花と緑の推進課
■ 三枚橋無料貸出自転車管理事務所

TEL (直通) 0276-47-1840

TEL 0276-25-6160 (貸出日のみ)

設置場所：太田市鳥山下町642-3(三枚橋駅東側)
利用期間：4月~11月までの、土・日・祝日と群馬県民の日(10/28)
利用時間：9:00~17:00(17:00までにかならず返納)
利用年齢：小学校4年生以上
※小学生は保護者の了解と、中学生以上は身分を証明できるものを確認させていただきます。